

## 平成27年度 事業計画

平成26年度は豊田理化学研究所から分離独立した初年度であり、公益認定時に策定した事業計画通り順調に実施することができました。特に創意工夫工作に力を入れ作品展・競技大会で好成績をあげることが出来ました。OM 世界大会(Odyssey of the Mind)では日本初金メダル獲得の快挙を成し遂げ、あいち少年少女創意工夫展では県1位の文部科学大臣奨励賞受賞、他にも数々の賞を頂き、40周年記念の節目の年に大きな成果をあげました。これも当クラブ員の頑張り、保護者のサポート、また関係各位の御支援の賜物と深く感謝いたします。

平成27年度は、公益認定を受けて2年目を迎えます。公益認定を受けた初年度の好実績を踏まえ、より良い活動をすべく、新しい活動を取り入れる挑戦の年であります。紙工作・木工工作・電気工作に加え、ロボット製作などの電子工作を導入し、カリキュラムの見直しを行い、時代にあったクラブのあり方について検討してまいります。

当財団の設立目的であります「次代を担う児童又は青少年に対し、科学技術に関する興味・関心を喚起すると共に、創造活動を通してアイデアを実現する喜びを体験させることにより、健全で創造性豊かな児童又は青少年の育成に寄与する」ことを継続的に実践し、事業のより一層の充実を図る所存です。

運営費の主原資となるご寄付は、トヨタグループ会社からに加え、地域に根ざした発明クラブを目指していくため昨年に引き続き地元団体、企業等からもご寄付をいただける予定であります。財政健全化の施策としては、クラブ費の値上げ・入会金の新設を行い、講座数適正見直しスリム化により人件費・材料費の経費削減をすすめます。削減をしながらも創意工夫工作活動を充実し、下記の通り、昨年と同等内容の事業を行う予定です。以下、事業計画の具体的な内容を説明します。

### 1. 刈谷少年少女発明クラブの運営

(1) 工作技能育成教室、(2) 創意工夫工作教室、(3) チャレンジ創造コンテストコース、(4) OMコース※、(5) 発明工作入門コースを開催します。

※Odyssey of the Mind の略（世界青少年創造性競技大会）

保護者の送迎が可能であれば、刈谷市以外の希望者も全員受け入れます。

以下、具体的に内容を説明します。

#### (1) 工作技能育成コース

小学2年生から中学3年生までを学年別クラス編成します。

- ・基礎コースⅠ（小2）、基礎コースⅡ（小3）
- ・中級コースⅠ（小4）、中級コースⅡ（小5）、中級コースⅢ（小6）
- ・上級コースⅠ（中1）、上級コースⅡ（中2）、上級コース（中3）

能力に適した材料・道具を使いこなせるような課題を与え紙工作、木工工作及び電気工作などの工作活動をしながら指導します。

## (2) 創意工夫工作教室

工作技能育成教室で習得した工作技能と創造性を発揮させながら、子供たちが作製したいアイデア作品の図面書きから製作までを指導します。

## (3) チャレンジ創造コンテストコース

発明協会が主催するチャレコン全国大会を目指し活動します。3人一組で地元のPRなどをするパフォーマンスカーを製作します。本年は刈谷市内中学校理科部・科学部からも参加を募ります。

## (4) OMコース（OMコースとOM基礎コースがあります）

OMコースは平成27年度にアメリカで行われる「世界青少年創造性競技大会」への参加が決定している7名に対し、集中訓練を行うコースです。事前に与えられる規定の長期課題と会場で与えられる即興の当日課題を解決し合計得点を競います。そのため約8ヶ月の訓練で長期課題を創造的に解決完成させます。また当日課題についての想定訓練を行います。その外に英会話研修、発想法研修、チームワーク養成等をクラブ内で行います。約10日間の行程でアメリカ大会へ参加し、そのあと科学施設見学等を行います。約45万円の自費参加です。

OM基礎コースはOMコースを希望する予備コースとして、小学6年生から中学2年生を受け付けます。教育内容は当日課題を中心にした訓練と英語による自己紹介練習、文章の暗唱や発表、直感力育成等を行います。

## (5) 発明工作入門コース

新規取り組みとして小学1年生を中心とした入門コースを新設します。紙工作中心に、定員100名で、5月にリニューアル完成する「ゆめと学びの科学体験館」にて実施します。4月に募集し、5月末から活動します。

## 2. その他協力事業

刈谷市教育委員会、刈谷市理数大好き推進協議会、発明協会、支援企業（スポンサー企業）から工作指導を依頼され指導員を派遣します。

## 3. 指導員研修

カリキュラム開発、指導法研修のためいろいろな機会を捉え、研修に参加します。（愛知県発明協会が主催するスキルアップセミナーに参加）

## 4. 広報活動

### 4-1. 刈谷少年少女発明クラブ機関誌の発行

- ・一年間の活動内容をまとめた「記録2014」を刊行します。
- ・月1回クラブ員活動紹介の「アイデアニュース」を発行します。

### 4-2. ホームページの維持、管理

財団設立趣意書、沿革、公開情報等をまとめた「財団概要」、事業内容の詳細を記述した「事業紹介」、クラブ紹介、年間行事計画、活動状況、施設紹介、募集情報、子供たちの作品入賞状況等を掲載し、地元を中心に子供やその保護者に、必要な新しい情報を提供します。

### 5-1. クラブ員数

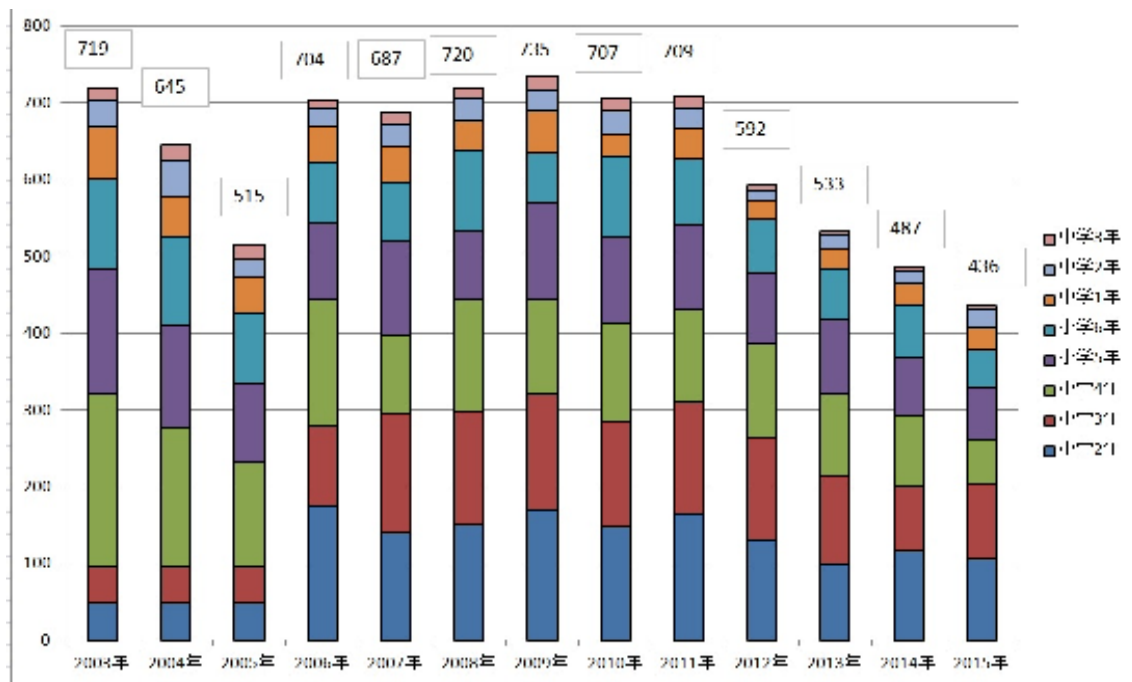
平成27年度のクラブ員数は436名で、前年比約50名の減少となりました。

内訳

(\*市外比率25%)

学年	新規	継続	計	(市外)	平成26年度
小1	未定	—	未定	—	—
小2	106	—	106	(19)	117
小3	18	80	98	(24)	83
小4	13	44	57	(20)	93
小5	3	66	69	(18)	74
小6	4	44	48	(15)	70
中1	1	28	29	(7)	28
中2	0	25	25	(5)	17
中3	0	4	4	(0)	5
計	145	291	436	(108)	487

### 5-2. 会員数推移



<会員の減少>：平成24年度（2012年）から会員の減少が続いており、要因として、聞き込みの結果、クラブ活動・学習塾・他の習い事などを優先したい事情や、友達が辞めるから辞める、また会費値上げなどがあると思われる。

### 5-3. 会費増強策の推進策

- 1) 新設する入門コース（小学1年生中心）での入会呼びかけ。
- 2) 小学校低学年（小2,3,4）を重点的に、継続入会の呼びかけ。
- 3) 魅力的なカリキュラムや行事の検討、などを推進する。